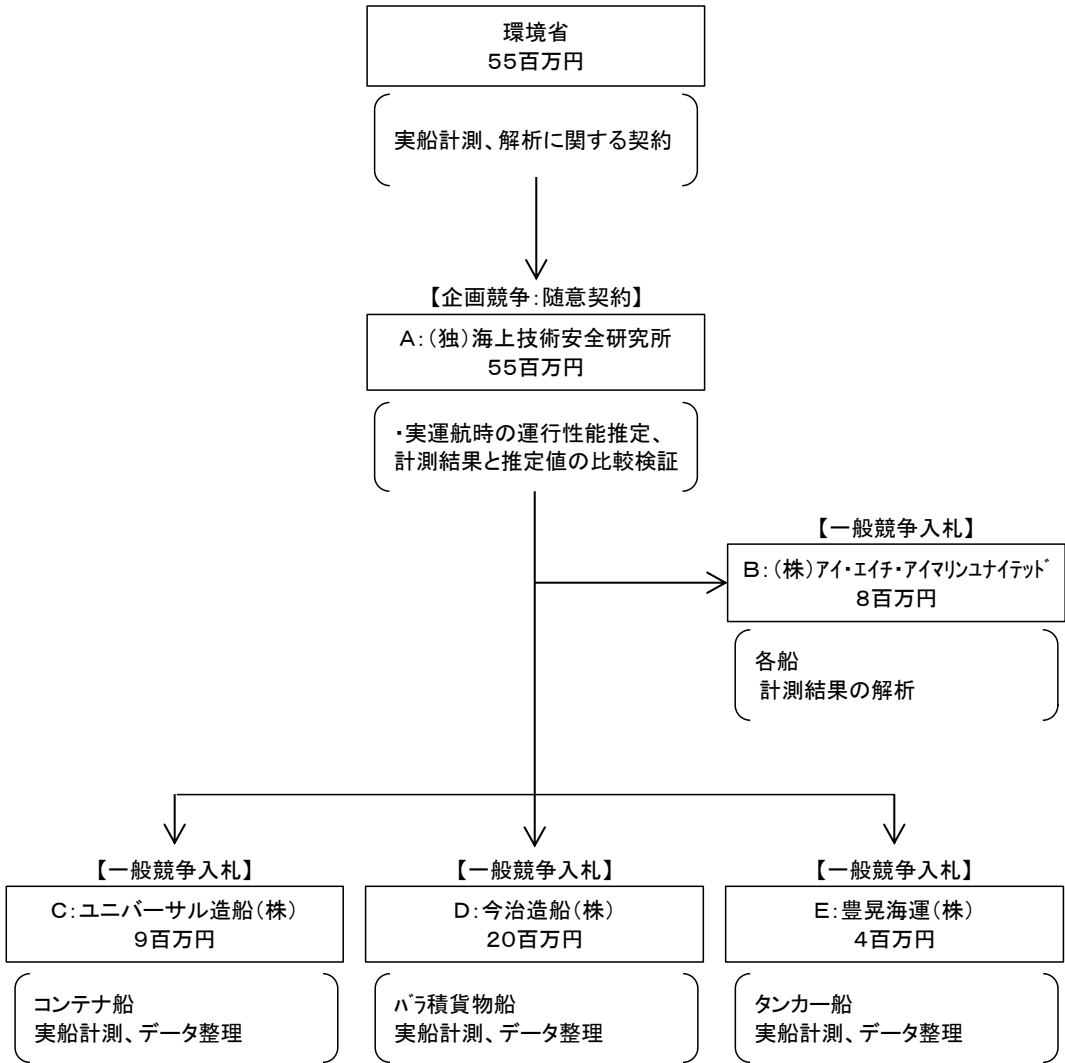


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	船舶の省CO2対策の推進に向けたモデル事業	事業開始年度	平成20年度			作成責任者	
担当部署	水・大気環境局	担当課室	自動車環境対策課			自動車環境対策課長 山本 昌宏	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)	上位政策	地球温暖化対策の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計法第85条第3項第1号ハ	関係する計 画、通知等	21世紀環境立国戦略(H19.6.1閣議決定) 長期戦略指針「イノベーション25」(H19.6.1閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	船舶分野のCO2排出量を効率的に削減していくためには、海運会社が船舶調達の段階で実運航時の燃費性能の優れた船舶を選択できることが必要である。燃費性能を評価するためには、自動車の10・15モードのような指標が必要であるが、船舶においてはこのような指標が存在していない。そこで本事業では、船舶の運航性能の評価指標と評価手法の確立を目的に、この検討に必要な就航船の実運航時における運航性能データの計測等の調査検討業務を実施する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	実運航を想定した海象・運航状況における船舶の燃費評価指標を開発するため、実船試験による精度検証を行い、その信頼性を確保する。船舶を建造しようとする海運事業者及び造船事業者は、燃費評価指標開発後、この指標に基づき、設計の検討段階において船舶の燃費性能の評価を行い、より燃費性能に優れた船型を選択することから、燃費性能の優れた船舶の普及が促進され、CO2排出量の削減に繋がる。						
実施状況	H20年度 自動車専用運搬船、大型油槽船の運航性能データの計測及び解析 H21年度 コンテナ船、ばら積み貨物船、タンカー船の運航性能データの計測及び解析						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)		75	55	30		
	執行額		74	55			
	執行率		98.7%	100.0%			
	総事業費(執行ベース)		74	55			
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査立会により、調査実施状況、執行状況等を確認。また、検討調査内容等に関する打合せを適時開催し、内容や進捗を管理。 ・再委託の際は、事前打合せにより内容を確認、精査。 ・再委託にあたっては、一般競争による契約とし、透明性・公平性を確保。 ・委託業務に係る経費の支出については、領収書等の提出を求め、支出状況を確認。 ・H22年度は、船舶の燃費評価指標確立に向けた最終段階として、実用化レベルの精度を確保するための測定調査を計画。 					
	見直しの 余地	・本事業は平成20年度から今年度までの3カ年で計画しており、最終年度となる平成22年度で船舶の運航性能の評価指標と評価手法の確立が完了し、モデル事業を終了する見込みとなっている。					
予算 監視 の 所 効 率							
補 記							

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者
 について記載す
 る。使途と費目
 の双方で実情
 が分かるよう
 に記載)

A. (独)海上技術安全研究所			E. 豊晃海運(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託費	各船舶の測定、データ整理、解析	40	雑役務費	タンカー船、実船計測、データ整理	4
備品	測定機器	5			
賃金	データ整理、分析、結果のとりまとめ	2			
消耗品	データ解析関連物品	1			
その他	旅費、一般管理費、消費税	7			
計		55	計		4
B. (株)アイ・エイチ・アイマリンユナイテッド			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	各船舶、計測結果の解析	8			
計		8	計		0
C. ユニバーサル造船(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	コンテナ船、実線計測、データ整理	9			
計		9	計		0
D. 今治造船(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	バラ積貨物船、実船計測、データ整理	20			
計		20	計		0